

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 平成 26 年 11 月 30 日

設置・運営主体	川口市		
設置主体			
経営主体	株式会社日本保育サービス		
事業所名 (施設名)	川口市立川口駅前保育園	種別	保育所
所在地	〒 332-0015 埼玉県川口市川口1-1-1 キュポラ8F		
電 話	048-222-6011		
FAX	048-222-6011		
Email	GSP30005@nifty.com		
URL	http://www.asuku.info/		
施設長氏名	西川 けい子		
調査対応担当者	西川 けい子/戸枝 陸 (所属、職名：園長/本部企画開発室)		
利用定員	134 名	開設年	平成 18 年 4 月 1 日
理念・基本方針			
<p>【運営理念】</p> <p>①セーフティ(安全)&セキュリティ(安心)を第一に ②お子様が一日楽しく過ごし、思い出に残る保育を ③利用者(お子様・保護者とともに)のニーズにあった保育サービスの提供 ④職員が楽しく働けること</p> <p>【保育理念】</p> <p>①子どもの自ら伸びようとする力、後伸びする力を育てる ②子どもの感受性や好奇心を自然な形で伸ばす五感で感じる保育の充実</p> <p>【園目標】</p> <p>・いきいきと遊べる子 ・はなしをしっかりと聞ける子</p>			
開所時間 (通所施設のみ)	(基本保育時間)	月～土	午前7時00分から午後6時00分
	(延長保育時間)	月～金	午後6時00分から午後8時00分

【利用者の状況に関する事項】

○成人施設の場合（老人福祉サービスを除く）

18歳未満	18～20歳未満	20～25歳未満	25～30歳未満	30～35歳未満	35～40歳未満
名	名	名	名	名	名
40～45歳未満	45～50歳未満	50～55歳未満	55～60歳未満	60～65歳未満	65歳以上
名	名	名	名	名	名
					合 計
					名

○老人福祉サービスの場合

60歳未満	60～65歳未満	65～70歳未満	70～75歳未満	75～80歳未満	80～85歳未満
名	名	名	名	名	名
85～90歳未満	90～95歳未満	95歳以上	合 計		
名	名	名	名		

○保育所の場合（通常保育）

	定 員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数		1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	12	12	1		12	4
1歳児	18	18	1		18	4
2歳児	24	24	1		24	4
3歳児	27	27	1		27	2
4歳児	26	26	1		26	1
5歳児	27	27	1		27	1
計	134	134	6	—		—

（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

○乳児院の場合

（1）施設定員数	人
（2）施設措置人数	人
	一時保護者数 人

○保育所の場合

常勤職員数		24 人	
うち	保育士	20 人	保健師・看護師 1 人
	栄養士・調理員	3 人	その他 () 0 人
非常勤職員数		11 人 (常勤換算 7.5 人)	
うち	保育士	7 人 (常勤換算 4.3 人)	
	保健師・看護師	0 人 (常勤換算 0 人)	
	栄養士・調理員	3 人 (常勤換算 2.5 人)	
	その他 (事務員)	1 人 (常勤換算 0.7 人)	
(注) 常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。			
(2) 前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 2 人	非常勤： 3 人
	退職	常勤： 4 人	非常勤： 3 人
(3) 常勤職員 (うち保育士・保健師・看護師) の平均年齢		34.3 歳 (33.3 歳)	
(4) 常勤職員 (うち保育士・保健師・看護師) の平均在職年数		3.9 年 (3.9 年)	
(注) 現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体(法人・自治体)内の児童福祉施設間の異動は通算可(公営の場合には保育主管課在職期間も通算可)。小数点以下第二位を四捨五入。			

○乳児院の場合

常勤職員数		人	
うち	看護師・保育士・児童指導員 (定数)	人 (人)	
	家庭支援専門相談員	人	心理士 人
	栄養士	人	調理員等 人
	その他 ()	人	
非常勤職員数		人	
うち	看護師・保育士・児童指導員	人	
	心理士	人	栄養士 人
	調理員等	人	その他 () 人
(2) 前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 人	非常勤： 人
	退職	常勤： 人	非常勤： 人
(3) 常勤職員 (うち看護師・保育士・児童相談員) の平均年齢		歳 (歳)	
(4) 常勤職員 (うち看護師・保育士・児童相談員) の平均在職年数		年 (年)	
(注) 現在の施設での在職年数。ただし、同一法人内の児童福祉施設間の異動は通算可。 小数点以下第二位を四捨五入。			
(5) 勤務形態 (該当にチェック)			
<input type="checkbox"/> 住み込み <input type="checkbox"/> 断続勤務制 <input type="checkbox"/> 住み込み・断続勤務制 <input type="checkbox"/> その他 ()			

○ファミリーホームの場合

主たる養育者数	人
その他養育者数	人
補助者数	人
(3) 主たる養育者の年齢	歳 (歳)
(4) 主たる養育者の在職年数	年 (年)
(注) 現在の施設での在職年数。ただし、同一法人内の児童福祉施設間の異動は通算可。 小数点以下第二位を四捨五入。	

【本来事業に併設して行っている事業】

(保育所を除く)

(例) 救護施設における通所事業 (定員5名)

(保育所の場合)

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育	○	—
延長保育	○	1時間：保育料の10% 2時間：保育料の15%
休日保育	—	—
障害児保育	○	—
一時保育	○	1時間：500円
地域子育て支援センター	○	イベントの内容による
乳幼児健康支援一時預かり事業 (病後児保育)		
アレルギー等対応給食	○	—
その他 (事業名：)		
(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。		

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・平成 26 年度におけるボランティアの受け入れ数（延べ人数）

25 人

・ボランティアの業務

- | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・夏祭りの和太鼓 ・人形劇・読み聞かせ ・中高生や教員の職業体験など |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|

【実習生の受け入れ】

・平成 26 年度における実習生の受け入れ数（実数）

社会福祉士 0 人

介護福祉士 0 人

その他 保育士 9 人 他、看護師 2人

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○成人施設の場合

(1) 建物面積		㎡
	入所(通所)者1人あたり	㎡ (延べ床面積÷定員)
(2) 耐火・耐震構造	耐火 <input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	
	耐震 <input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	
(3) 建築(含大改築)年	平成	年

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)		1,611 ㎡
	児童1人あたり	12.02 ㎡ (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積		856.2 ㎡
	児童1人あたり	6.3 ㎡ (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火 <input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	
	耐震 <input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	
(4) 建築(含大改築)年	平成	18 年

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設（事業所）において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ①園に意見箱の設置
- ②第三者評価の実施（川口市からも実施）
- ③利用者アンケート
- ④運営委員会の実施
- ⑤個人別連絡ノート

【その他特記事項】

- ・安全に向けての取り組み…一斉メールの点検実施。避難訓練の見直し改善、全避難階段を経験したり、4・5歳児は8階から1階まで降りるなど、階段経験を意識的に増やしている。園庭のキンモクセイの周囲を花壇にした。
- ・保護者、職員共にネームプレート着用強化の呼びかけにより、保護者間の交流や不審者対策として実施。
- ・保護者との連携（園だよりに写真を加え、見やすく工夫。手紙袋と集金袋を分け、明確にした。卒園に向けて、保護者意向に添って、平成26年度は園内で謝恩会を実施。）
- ・すぷらうとの導入。
- ・子育て支援の中で、保護者同士の関係づくりをサポートしたり、保護者が講師になり、デコパージュやベビーマッサージなどの講座を開く。授乳のための来園者など地域に根付いてきている。
- ・食育の取り組み（食物の循環など）